

底開き式コンテナ 取扱説明書

当社製『底開き式コンテナ』で内容物を排出する場合、以下の手順で行なって下さい。
※片開き式、両開き式共に同操作となります。

手順

- ① 「吊ワイヤー」等にてコンテナを吊り上げ、排出口等へ移動し、コンテナを着地させます。
- ② 「ロックハンドル」を、下方向に押し下げたままコンテナを、約30mm～50mm程度吊り上げるとロックが解除されます。
(この時、コンテナから出来るだけ離れて行なう事)
- ③ ロックの解除を確認後、コンテナから安全な場所まで離れます。
- ④ その状態でコンテナをゆっくりと吊上げるとボトムが開いていきます。
- ⑤ 内容物排出。
(内容物排出後、スプリングの作動により、ボトムが約45°前後に戻ります)
- ⑥ 完全に排出した後、コンテナを平地等まで移動し、着地させます。
- ⑦ 平地等に着地した時、コンテナの自重でロックが作動し、ボトムがロックされます。
※コンテナが軽くてロックが閉まらない場合は、着地後コンテナを上から手で押して閉めて下さい。

以上①～⑦の操作で、一連の手順が完了します。

(引ワイヤーをロックハンドルに引っ掛けて引ワイヤーを引く事によりボトムを開く事も出来ます)



(危険)

1. コンテナの昇降中は、コンテナ及び台車から離れる事。
2. コンテナの昇降中は、コンテナの下には絶対に近づかない事。

〈台車付コンテナの場合〉

1. コンテナを吊ワイヤー等にて台車から分離する際、または、台車にセットする時は、台車に手を触れない事。
2. コンテナと台車の位置決め等で、やむを得ず台車に手を触れる場合は、コンテナの昇降を一時中断し、十分に注意を払い、位置決めをして、台車及びコンテナから離れる事。

★定期点検 (作業前に確認して下さい)

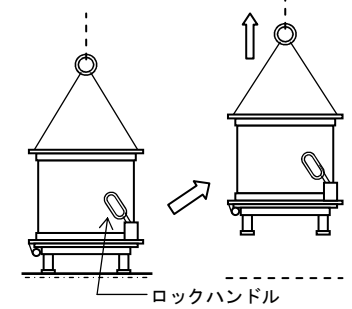
1. 損傷、破損の確認
損傷、破損については、特にロック、ボトム周り、吊ワイヤー(吊具)、吊環(7体ルト)の損傷(ゆがみ、亀裂)等の確認をして下さい。
(万が一損傷、破損等が確認されましたら、作業を中断し、メーカー(弊社)へお問い合わせ下さい)
2. ロックの掛かり代について
ロックの掛かり代は、約13mm前後になっているか確認して下さい。
(右図参照)
3. 清掃
清掃は内容物排出毎に行い、ボトムフレーム周りの残渣の除去を確実に行って下さい。
残渣が残っているとボトムが閉まらなくなり事故の原因となります。

以上の事を励行し、全てにおいて安全確認の上お使い下さい。

作業手順概略図

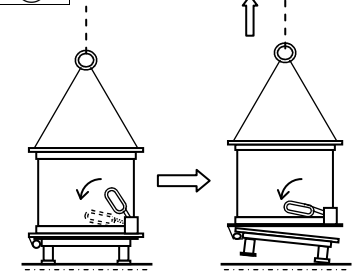
手順

①



手順

②

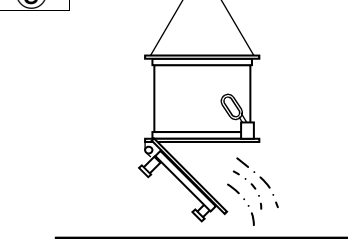


手順

④

手順

⑤

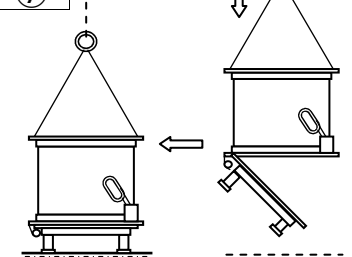


手順

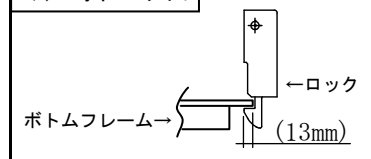
⑥

手順

⑦



ロックの掛かり代



SKK 新和工業株式会社

横浜市鶴見区尻手一丁目2番1号

TEL: 045-581-2711

FAX: 045-581-8266

(営業部)